

# 医療に役立つ作品紹介

倉敷市立 川崎医福大卒業展  
美術館



福祉施設向けの親しみやすいデザインを提案した岡崎さんの展示ブース

価値アップに一役買っている。

同じく最優秀の貝原拓磨さん(22)は「平成解体新書」と題し、江戸時代の解剖書「解体新書」を、現代の医学知識を基に考察。原書の絵と自ら制作した最新の解剖図を臓器ごとに対比させ、昔と今の人体についての考え方の違いや医学の進歩がよく分かる作品となった。

ている。

川崎医療福祉大(倉敷市松島)医療福祉デザイン学科の卒業制作展が、同市中央の市立美術館で開かれてい

もに紹介している。最

優秀に輝いた岡崎五月さん(22)は、障害者の生活や就労を支援する真庭市の多機能型サービス事業所のイメージキャラクターとロゴマークを提案。同市湯原地区に生息する国天然記念物・オオサンショウ

6日まで。

かわいイラストを あしらった子ども向け食育教材、薬の誤飲や飲み忘れを防ぐためのポケット付きタペストリー型カレンダーなども展示。実用的な中にも大学生らしい意匠や遊び心、センスが感じ

「進め、届け。」をテーマに、4年生13人がそれぞれ取り組んだ研究成果を、作品と

ウオオから着想を得た親しみやすいデザインで、利用者が作る木工製品などに添え、付加

午前9時〜午後5時

(角南邦彦)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。